

あべこういち 千葉県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

「開かれた県議会」実現へ向け!

廃棄物処分場候補地で論議

さる4月29日に県議会議長の任期満了を迎えた阿部紘一(あべ・こういち)県議は、議長としての任期を滞りなく全うし、県議会を代表してその重責を果たしてきました。また、4月の改選後、初心に返って議会活動に臨む阿部県議は、実質的に初となる6月定例会では、阿部県議の実績と豊富な経験、公正な政治姿勢が評価され、自民党千葉県連の副会長に就任し、指導的な役割を果たしています。

6月議会では、東日本大震災に起因して県内で発生した指定廃棄物処分場の候補地として、千葉市が選定されたことから、さまざまな議論が展開されました。県民・市民に「開かれた県議会」を先頭に立って実践する阿部県議として、6月議会の主な質疑を特集してお知らせします。

代表質問 指定廃棄物

処分場の詳細調査候補地の選定について、なぜ千葉市が選ばれたのか。処分場の設置は、なぜ1カ所に限る必要があるのか。

森田知事

今回の候補地は、国が4回にわたる市町村長会議の議論を経て確定した選定手法に基づき、県内全域の民有地を含む利用可能なすべての土地を対象に選定作業が行われ、提示されたものです。

具体的には、これらの土地の中から、地滑り、津波などの自然災害が生じるリスクの高い地域や、自然環境を保全すべき地域などを除外した上で、住宅地や水源までの距離、市町村が保管している指定廃棄物の量なども評価し、候補地として選定されたものです。

また、処分場の設置について、国は県内に分散保管されている指定廃棄物を集約して管理することで安全の確保が図られることや、施設の維持管理のための人

液状化の懸念

代表質問 液状化が起ると護岸が海側に変形し、後背地盤の側方流動が発生し、処分場施設に被害をもたらすのは明白だが、そう考えているのか。

森田知事

液状化については、国の有識者会議で議論した結果、構造物の設計・施工段階で、地下の固い地盤まで基礎杭を打つなどの対策を講じることで、対処が可能とされており、

地震のリスク

代表質問 詳細調査候補地は、震度6以上の地震の起こる確率が高い場所であり、なぜ候補地としたのか。

森田知事 候補地の選定に当たっては、地震によるリスクを回避するため、活断層や推定活断層の真上とその周囲300メートル以内のエリアは対象から除外されています。

また、コンクリートの堅固な施設を地下に建造することで、地震に対処できるとされています。

ごあいさつ

長職も任期満了となりました。この間、小さな声にも耳を傾け、公正かつ円滑な議会運営に神経を注いでまいりました。これからもその貴重な経験を生かして、県民(生活者)の視点で「県民の幸せが一番」を政

今期4年間も定例県議会とともに県政の実態、実情をありのままに私の「県議会レポート」を通して、皆さまにお知らせ申し上げます。

また、自民党千葉県連に

おいては、副会長という要職をお預かりすることな

治信条として、頑張つてまいりますことをお誓い申し上げます。

事実上、改選後の初議会となった6月定例会でも、27年度の千葉県一般会計補正予算案など16議案を可決して閉会しました。そして、

りました。党改革も視野に入れながら、県の重要課題である議員定数や選挙区の見直しなどに踏み込んでまいります。

結びに、公職選挙法でお礼のあいさつが禁止されておりますことから、失礼させていただきます。

皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、県政報告とさせていただきます。

千葉県議会議員
阿部 紘一

●県政や千葉市稲毛区のご相談、ご意見をお聞かせください

あべこういち 県事務所

〒263-0043 TEL.043-287-8595
千葉市稲毛区小仲台2-6-8-401 FAX.043-285-2192

阿部 紘一 検索 ホームページ <http://abe-koichi.com/>

「県民の幸せが一番」願いつつ

財政問題

代表質問 平成26年度の一般会計の収支見通しはどうか。

森田知事 平成26年度の年間収支は、2月補正予算段階では、災害復興・地域再生基金を34億円活用することで収支均衡する見込みとなっていました。

した経費節減に努めたことや、人件費や社会保障費等の確定に伴う不要額が生じていること

●歳入面では、企業業績の回復により法人2税が増加したこと

などから、95億円程度の収支改善が見込まれる状況になりました。

このため、災害復興・地域再生基金の取り崩しは行わないこととし、現時点では60億円程度の黒字を確保できる見込みとなっております。なお、最終的な決算見込みについては、今後、精

その後、年度末までの間に、●歳出面では、徹底

マーズ対策

代表質問 成田国際空港を抱えている本県のマーズ(MARS)対策はどうか。

森田知事 県では、日ごろから成田空港検疫所と連携を図り、感染症対策に取り組んでいます。県内でマーズの疑いのある患者が発生した場合には、庁内連絡会議を開催し、情報の共有化を図ります。

査の上、8月上旬ごろにお示しできるものと考えています。

児童の安全確保へ

代表質問 「児童生徒の安全に関する緊急確認調査」の結果はどうだったのか。

内藤教育長 本県においては、平成27年2月27日時点で、学校において7日間以上連続して連絡が取れず、生命または被害が生ずるおそれのある児童生徒は12名、学校外の集団との関わりの中で、生命または身体に被害が生ずるおそれがある児童生徒は4名、合計16名という結果でした。

その後の追跡調査では、4月13日時点で、被害のおそれが解消した者が5名、解消に向けた対策が進行しているものが4名、国外に転出したことが確認できた者が1名であり、所在が分からず、解消できたかどうか判断できない者は6名という結果で、引き続き調査を進めているところです。

を中心とした接触者等の調査を行い、感染拡大の防止に万全を期してまいります。

代表質問 調査結果を踏まえた県教育委員会の今後の対応状況はどうか。

内藤教育長 県教育委員会では、従来から警察等の関係機関と連携して児童生徒の安全確保に努めてきたところですが、新たに「児童生徒の安全に関する連絡会議」を立ち上げ、警察本部、健康福祉部等の関係者が連携する体制を、より一層強化し、被害のおそれの解消に向けた取り組みを進めています。

また、文部科学省が示した「学校における早期対応の指針」等を、4月3日付けで通知し、「被害のおそれのある児童生徒がいる場合、学校等が関係機関と連携し、速やかに支援体制を構築すること等を、県立学校や市町村教育委員会に周知・徹底しました。

特殊詐欺壊滅へ向け

代表質問 平成27年度における特殊詐欺の発生状況はどうか。

黒木警察本部長 平成27年5月末現在、特殊詐欺の認知件数は393件、被害額は約12億4788万円となっています。昨年同時期と比べて件数で94件、被害額で約6億8852万円といずれも減少しており、総合的な対策が一定の効果を上げ始めたものと判断しています。

代表質問 県警が特殊詐欺組織の壊滅に向け、タスクフォースという専従チーム

を立ち上げて取り組んでいるが、これまでの成果はどうか。

黒木警察本部長 本年1月に約100名体制で特殊詐欺対策の専従チームを立ち上げて検挙活動を推進した結果、5月までに犯行グループの中核被疑者を含む110人を検挙しました。

これは、昨年の同時期と比べて38人多い検挙数で、引き続き、県下全警察署と連携し、犯行グループの壊滅により、特殊詐欺事案の抑制に努めてまいります。

6月県議会の代表質問から



全国議長会に出席し、千葉県議長として発言する阿部県議

企業業績回復で税収95億円増加

専従の「タスクフォース」で検挙



県議会議員を代表して議長あいさつをする阿部県議(千葉日報新年の集いで)